社員への環境教育・啓発活動

環境経営の推進には社員一人ひとりの意識向上と取り組みが不可欠であると考え、様々な環境教育・啓発を継続して実施しています。

包括的な環境教育の実施

富士通グループでは、3年に1回、全社員を対象に環境e-Learningを実施し、環境経営に関する基本的な理解を促しています。また、新入社員教育、幹部社員教育といった階層別教育のほか、設計開発、営業・SEなど部門に応じた教育も実施しています。さらに、環境業務を担当する社員に対しては、内部監査員教育や廃棄物実務担当者教育などの専門教育を実施しています。

環境教育体系

全世界のグループ社員向け環境e-Learning

社員一人ひとりが富士通グループの環境経営を理解し、業務における環境配慮への取り組みを主体的に実践できるようになることを目的に、すべてのグループ社員を対象とした環境e-Learningを実施しています。

2013年度は、第7期環境行動計画の初年度にあたることから、行動計画の背景や内容の理解促進と実践に向けて、6カ国語でコンテンツを作成し、国内外で約10万人が受講しました。

環境e-Learningの画面例

社内表彰制度を通じた意識啓発

富士通グループでは、社員の環境意識の向上を図るため、グループ全組織と全社員を対象に環境に貢献しているビジネスや活動を表彰する「環境貢献賞」と、環境の意識啓発につながる「環境フォトコンテスト」を1995年から毎年継続して実施しています。

2013年度の環境貢献賞では、「製品・サービスの提供によるお客様・社会への環境貢献」、「社内の環境負荷低減」、「社会貢献活動」の3つの分野で多数の応募があり、「世界最小・最薄・最軽量の非接触型静脈センサーの開発」など3件が「環境大賞」として表彰されました。

環境フォトコンテストには世界中の富士通グループ社員から503作品が集まりました。このコンテストは作品の応募や投票を通して、社員がグローバルな視野で環境問題を考えるきっかけとなっています。

また、営業・SEを対象に、ICTによるお客様の環境負荷低減の推進を目的とした「環境特別表彰」制度を2008年度から実施し、顕著な活動を行った組織を表彰しています。

環境フォトコンテスト最優秀賞作品
「お父さん綺麗な砂浜が台無しだよ」